

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
貝 淵 正 人		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 人間の日常生活の基本として遂行される食事、排泄、整容、更衣、移動などの動作遂行に必要な条件を理解し、日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）に関連する基礎的・応用的知識について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. ADLの概念について説明できる。 2. 基本動作の特徴を分析することができる。 3. 代表的疾患に特有なADL評価を説明でき、プログラムを立案施行できる。 4. 福祉用具・スプリントの役割についての重要性を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ADLの基本的考え方、領域と分類、ADL支援システム			1	講義
2	ADL評価と動作分析の基礎知識			2	講義
3	福祉用具の基礎知識			4	講義
4	評価の特徴とADLプログラム立案（片麻痺）			3	講義
5	評価の特徴とADLプログラム立案（脊髄損傷）			3	講義
6	スプリントの理論：スプリントの処方、スプリントの適応			4	講義
7	スプリントの理論：スプリントの力学とスプリント療法の実際			4	講義
8	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	2008・5,460円
		ADLとその周辺 第2版	伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,300円
		義肢装具学 第3版	川村次郎、竹内孝仁	医学書院	2004・7,000円
参考書		ADL 第2版—作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博	三輪書店	2005・4,725円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 (1)出席2/3以上 (2)期末試験60点以上 (1)でかつ(2)の場合合格とする			【履修上の留意点】 動きやすい服装で臨むこと		